

大切な命を守るために

- 1、波が高い時は無理をしない！
- 2、ライフジャケットの常時着用！
- 3、複数人行動！
- 4、スマホ等の防水ケースの活用！
- 5、緊急通報用電話番号「118番・119番・110番」の活用！

釣り中の事故事例

【事例1】

令和6年1月22日（月）

鹿屋市在住 60代 男性

家族から「釣りに出掛けたまま帰ってこない」との通報を受け捜索中のところ、肝付町岸良の国道448号沿いに駐車された無人車両を発見する。また、付近の地磯に残置された釣具が発見された。その後、捜索中の潜水土により事故者を発見するも、死亡が確認された。

（発見時ライフジャケット未着用）



【事例2】

令和7年7月30日（水）

都城市在住 30代 男性

単身で地磯に下り、ルアー釣りを開始するも高波にさらわれ海に転落する。ただ、ライフジャケットを着用していたことで波で身体が磯に押し上げられ、奇跡的に一命を取りとめた。しかし、足の骨を骨折しており自力で動けず、携帯から助けを求め、防災ヘリで救助される。

（ライフジャケット着用）



○令和6年中 岸良・内之浦における海釣り事故発生状況【資料提供：志布志海上保安署】

	発生日	活動内容	事故内容	ライフジャケット	行動形態	備考
①	1月22日	釣り中	海中転落	未着	単独	死亡
②	2月3日	釣り中	海中転落	着用	単独	生存
③	3月11日	釣り中	海中転落	未着	単独	死亡
④	5月11日	釣り中	海中転落	着用	複数	生存
⑤	8月8日	釣り中	海中転落	未着	単独	死亡